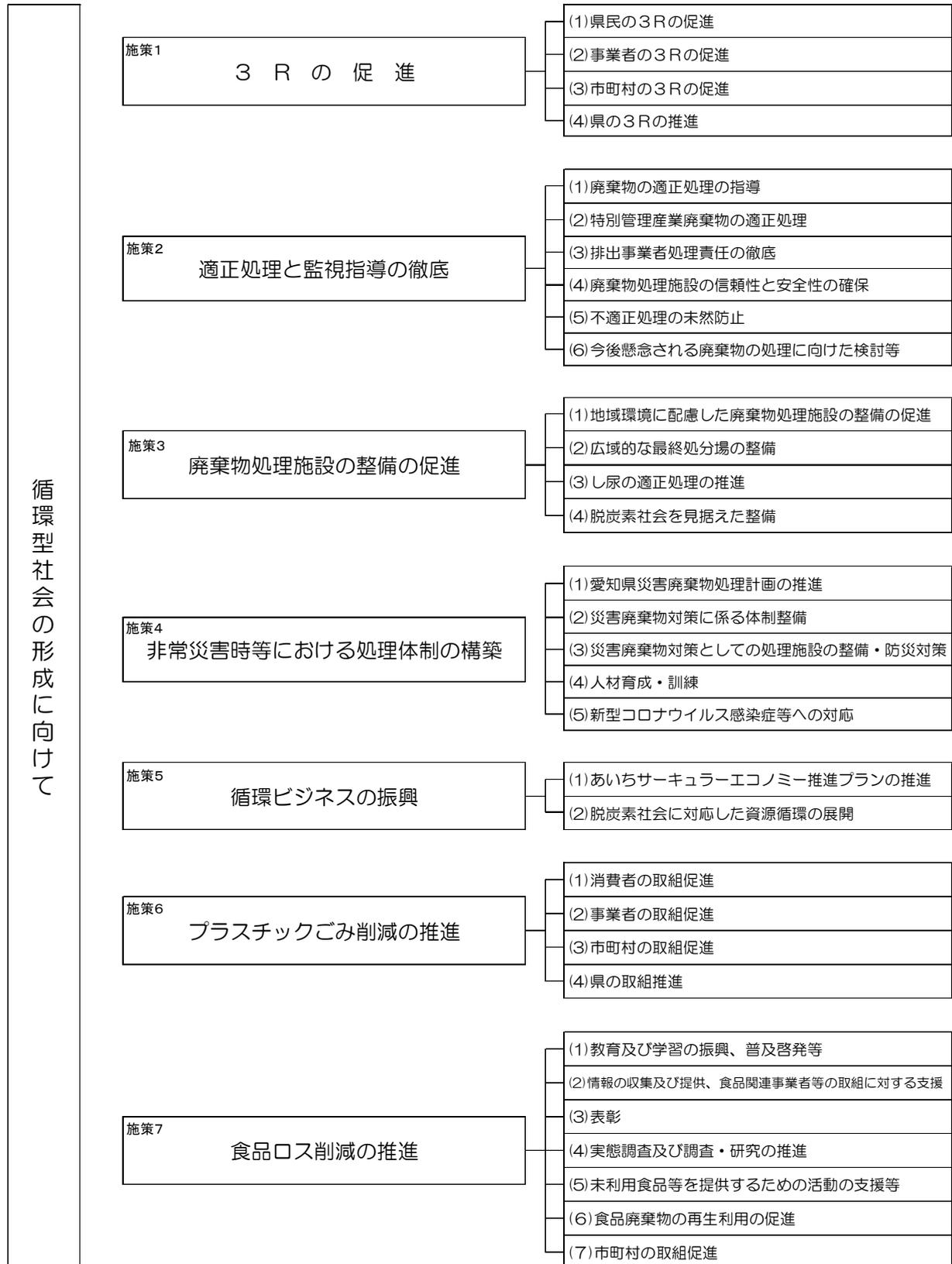


○ 愛知県廃棄物処理計画の施策の 2025 年度実施状況

・ 廃棄物処理計画では、廃棄物処理の現状・課題への対応、目標の達成に向け、次の体系図に基づき、各種施策を総合的かつ計画的に推進することとしています。

廃棄物処理計画における施策体系図



- ・2025年度に実施した主な取組は、次のとおりです。

## 施策1 3Rの促進

### 循環型社会の実現に向けて、県民、事業者、行政、みんなで3Rに取り組みます

#### (1) 県民の3Rの促進

- 3Rに関するリーフレットの作成・配布：16,000部
- ごみゼロ社会推進あいち県民大会（2025.10.19開催）
  - ・レジ袋削減取組優良店表彰
  - ・トークショー：BOYS AND MEN
- 県民の環境学習の促進
  - ・海ごみ削減に係る啓発活動（啓発動画のインターネット配信等）
  - ・環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布：50,000部（2026.3配布予定）
  - ・あいち環境学習プラザを活用した環境学習の場の提供
  - ・「あいちecoティーチャー」派遣による「食品ロス」をテーマとした環境学習講座の実施

#### (2) 事業者の3Rの促進

- 各種報告届出に伴う指導
  - ・多量排出事業者の処理計画書の提出：675事業者
  - ・多量排出事業者の実施状況報告書の提出：684事業者
- 「エコアクション21」の導入促進：404件（2025.9末/認証・登録事業者数）
- 再生利用個別指定制度の促進：22事業者（2025.12末）
- 再生事業者登録制度の促進：220事業者（2024.12末）
- 建設リサイクル法に係る建設工事現場のパトロールの実施（2025.6.23～27、10.6～10）
- 建設部門建設副産物対策協議会を通じた、建設副産物に関する情報交換・共有
- 産業廃棄物の適正処理に関するパンフレットの作成・配布：約4,000部
- 「愛知県廃棄物処理計画」の周知（処理計画の本冊及び概要版の配布）

#### (3) 市町村の3Rの促進

- 一般廃棄物処理事業実態調査結果等の情報提供
- 15市町村が実施する海岸漂着物の回収・処理等への財政支援
- 処理が困難な廃棄物の適正処理等についての情報提供
- 民間事業者による資源ごみ回収状況を把握した結果の情報提供
- 産業廃棄物税のあり方や有効な使途の検討

#### (4) 県の3Rの推進

- 産業廃棄物税制度の目的や効果等についての周知・啓発
- 「あいちエコスタンダード」に基づく可燃ごみ排出量等の削減
- あいくる材の認定と県発注工事での利用
  - ・認定：21品目、392件、1,352資材（2025.3末）

- ・利用： 約 25 万 8 千トン<2024 年度実績>
- 「あいち建設リサイクル指針」に基づく特定建設資材廃棄物の再資源化推進
- 下水汚泥のセメント原料、肥料原料等への有効利用
- 産業廃棄物処理業者や産業廃棄物多量排出事業者の処理実績の公表

## 施策2 適正処理と監視指導の徹底

### 監視体制を強化し、不適正処理の未然防止に取り組みます

#### (1) 廃棄物の適正処理の指導

- 立入検査時や各種報告書提出時の指導
- 電子マニフェストの普及促進：普及率 69.9%（2024.3 末）
- 処分業者に係る優良認定事業者数：96 事業者（2025.12 末）

#### (2) 特別管理産業廃棄物の適正処理

- 立入検査時や各種報告書提出時の指導
- PCB 廃棄物等の確実かつ適正な処理の推進

#### (3) 排出事業者処理責任の徹底

- マニフェストの使用の徹底や適正な委託契約等の排出事業者責任の周知・指導

#### (4) 廃棄物処理施設の信頼性と安全性の確保

- 施設の設置又は処理業の許可に当たっての適正な審査
- 廃棄物処理施設の維持管理に関する情報公開の指導
- 民間最終処分場設置者に対する維持管理積立金の活用による適正管理の指導

#### (5) 不適正処理の未然防止

- 不法投棄等監視特別機動班による監視パトロールの実施
- 立入強化月間（6 月、11 月）の実施：立入件数 890 件
- 平日夜間及び休日昼夜間の監視を民間警備会社に委託：630 回（実施予定回数）
- 関係機関や関係局との連携
  - ・警察本部との連携による監視・指導や、保健医療局の一部職員への廃棄物処理法に基づく立入検査権限の付与 等
- 自動車リサイクル法に基づく自動車解体業者、破砕業者等への立入検査、指導の実施
  - ・立入件数：249 件（2025.9 末）
- 産業廃棄物処理業者情報の「見える化」の整備
- ヘリコプターを用いたスカイパトロール及びドローンを用いた産業廃棄物不適正保管等の確認：1 件（2025.11 末）

#### (6) 今後懸念される廃棄物の処理に向けた検討等

- 太陽光パネル等の廃棄物について、サーキュラーエコノミー推進モデルの事業化支援

### 施策3 廃棄物処理施設の整備の促進

#### 地域環境に配慮した適正な廃棄物処理施設づくりを目指します

#### (1) 地域環境に配慮した廃棄物処理施設の整備の促進

- 「愛知県ごみ処理広域化・集約化計画」に基づく効率的なごみ処理施設の設置を促進
- 循環型社会形成推進交付金等の活用：17市町等（20施設等）

#### (2) 広域的な最終処分場の整備

- 衣浦港3号地廃棄物最終処分場整備（2010年度供用開始）
  - ・残余容量：約134万 $m^3$ 、残余率：27%（2025.3末）
  - ・廃棄物処理計画では、最終処分量の削減を減量化目標として掲げているものの、今後も廃棄物の最終処分は必要になることから、衣浦港3号地廃棄物最終処分場の次の最終処分場の整備に向けた手続きを開始した。

#### (3) し尿の適正処理の推進

- 「全県域污水適正処理構想」に基づく污水处理施設の計画的、効率的な整備
- 市町村に対する合併処理浄化槽の設置整備補助：998基（2025年度）

#### (4) 脱炭素社会を見据えた整備

- 市町村、一部事務組合が設置するエネルギー回収施設等整備に対する助言

### 施策4 非常災害時等における処理体制の構築

#### 非常災害時における廃棄物を迅速かつ適正に処理します

#### (1) 愛知県災害廃棄物処理計画の推進

- 「愛知県災害廃棄物処理計画」に基づく各主体の連携体制の整備

#### (2) 災害廃棄物対策に係る体制整備

##### ア 市町村の役割

- 市町村災害廃棄物処理計画の策定
  - ・策定済み市町村数：54市町村（2025.3末）

##### イ 県の役割

- 市町村災害廃棄物処理計画に基づく災害廃棄物処理が実効性のあるものとなるよう研修の実施等の技術的支援

#### (3) 災害廃棄物対策としての処理施設の整備・防災対策

- 市町村設置処理施設について、国の交付金に関する指導監督や技術的助言
  - ・交付金事業：17市町等（20施設等）（2025年度）

#### (4) 人材育成・訓練

- 市町村、一部事務組合等を対象とした研修会、情報伝達訓練及び図上演習の実施
  - ・研修会（2025.8.22、9.29、10.30）、図上演習（2025.11.6、11.7）

#### (5) 新型コロナウイルス感染症等への対応

- 市町村、関係事業者等による新型コロナウイルス対策に係る国の通知等を周知

## 施策5 循環ビジネスの振興

サーキュラーエコノミー型ビジネスへの転換と3Rの高度化による循環ビジネスの進展を目指します

### (1) あいちサーキュラーエコノミー推進プランの推進

#### ア サークュラーエコノミー推進モデルの展開

○2022年度に立ち上げたプロジェクトチーム（以下、PTという。）について定期的に会議を開催

<サーキュラーエコノミー推進モデル>

- ・プラスチック循環利用モデル
- ・太陽光パネル循環利用モデル
- ・繊維・衣類循環利用モデル
- ・リペア・リビルドモデル
- ・食品循環利用モデル
- ・未利用木材循環利用モデル

#### イ 循環ビジネスの振興支援

○「循環ビジネス創出コーディネーター」による相談・技術指導：321件（2025.10末）

○循環型社会形成推進事業費補助金

- ・リサイクル関係設備整備事業：採択1件
- ・排出抑制関係設備整備事業：採択0件
- ・プラスチック関係設備整備事業：採択3件
- ・循環ビジネス事業化検討事業：採択7件

○大型展示会場における出展

- ・メッセナゴヤ2025：出展者18社

○「愛知環境賞」の実施：応募件数37件、表彰件数14件

#### ウ 人材育成と情報発信

○「あいち環境塾」による人材育成

- ・卒塾生19名

○「あいち環境塾」卒塾生による地域実践活動

○自治体職員を対象としたセミナーの開催

○「あいち資源循環情報ナビ」を通じた情報発信

#### エ 多様な主体との連携

○現地見学会、ビジネスセミナーの開催

- ・現地見学会（12月）、ビジネスセミナー（1月）

○「あいち資源循環情報ナビ」のマッチング機能の活用促進

### (2) 脱炭素社会に対応した資源循環の展開

○ごみ発電施設及び熱回収施設等の設置促進

○「中部圏低炭素水素認証制度」に基づき事業者のプロジェクトを低炭素水素製造計画に認定

## 施策6 プラスチックごみ削減の推進

消費者、事業者、行政が一体となってプラスチックごみの削減の取組を進めます

### (1) 消費者の取組促進

- プラスチックごみ削減の行動を促進する啓発動画の作成・配信
- プラスチックごみ削減について考え、行動に移すように促すオンライン謎解きイベントの開催
- 「あいちプラごみ無くし隊」を結成し、各種イベントなどでプラスチックごみ削減の取組を体験してもらい、取組を SNS 等で発信
- 市町村が民間団体と連携して行う海岸漂着物の回収処理への財政支援

### (2) 事業者の取組促進

- 「ワンウェイ（使い捨て）プラスチックごみ削減取組表彰制度」の見直し
- プラスチック代替製品に係る啓発活動（啓発動画のインターネット配信等）

### (3) 市町村の取組促進

- 「プラスチック資源循環促進法」に基づく市町村職員を対象とした研修会の実施（2025. 10. 21）
- 15 市町村が実施する海岸漂着物の回収・処理等への財政支援

### (4) 県の取組推進

- 漂着ごみ組成調査の実施（伊勢湾、三河湾、遠州灘の3地点）
- ごみ散乱防止強調週間（2025. 5. 30～6. 5）における啓発活動の実施

## 施策7 食品ロス削減の推進

多様な主体が連携し、食品ロス削減の取組を進めます

### (1) 教育及び学習の振興、普及啓発等

- 食品ロス削減イベント（2025. 10. 19 開催）：約 8,300 名（参加者数）
  - ・トークショー（タレント ギャル曽根氏）
  - ・講演（タレント・料理人 森野熊八氏）
  - ・ブース出展
- 食品ロス削減に資する調理レシピのコンテストを実施し、優秀作品を活用した普及啓発の実施
- 環境局主催のイベントへの食品ロスに関する環境学習プログラムのブース出展
  - ・参加者数：292 名
- 「あいち eco ティーチャー」派遣による「食品ロス」をテーマとした環境学習講座の実施
- 「学校食育推進の手引（第一次改訂版）」、「学校給食の管理と指導（七訂版）」を活用した担任、栄養教諭や管理職などによる食に関する指導
- 「エンカル消費」の普及啓発と連動した啓発活動の実施
- 「あいち食育いきいきプラン 2025（第4次愛知県食育推進計画）」に基づく普及啓発

**(2) 情報の収集及び提供、食品関連事業者等の取組に対する支援**

- 「あいち食品ロス削減パートナーシップ制度」の運用
  - ・登録事業者数：22 者（2025. 11 末）
- 事業系食品ロス削減取組事例集の配布
- 多量排出事業者に対する減量等の指導
- 県内（名古屋市、中核市を除く）の小規模飲食店営業施設及び菓子製造施設を対象とした「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」に係る相談・実地指導を実施
- 「3010 運動」、「てまえどり」の周知・啓発

**(3) 表彰**

- 「愛知環境賞」の食品廃棄物関係への表彰：1 件（2025 年度）

**(4) 実態調査及び調査、研究の推進**

- 県内の事業系食品ロスの排出実態把握調査を実施し、その成果の発信

**(5) 未利用食品等を提供するための活動の支援等**

- 「食品ロス削減イベント」でのフードドライブ実施
  - ・回収量：74 点 計 4. 2kg
- 「あいちエコアクション・ポイント事業」におけるフードバンク等への寄付に対するポイントの付与
- HP でフードバンク活動に関する情報発信
- 期限が切れる予定の災害用備蓄食料についてフードバンク団体等への提供
- NPO 等の団体が、フードバンク活動に関する情報等を発信することができる「あいち協働プラットフォーム」の運用
- 生活困窮者の自立を促すため、フードバンクと連携し、緊急的に食料を必要とする方への支援
- Web サイト「食育ネットあいち」で未利用食品の活用について情報発信

**(6) 食品廃棄物の再生利用の促進**

- 事業系食品ロスをテーマとした新たな PT の設立に向けて、産官学の構成による意見交換会を実施

**(7) 市町村の取組促進**

- 市町村へのフードドライブ等啓発資材の貸出
- 市町村別に食品ロス発生量を推計し、市町村への情報提供